



みなさんは、日々の暮らしの中に気の合う仲間やお友達がいますか？
5年後、10年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える
人と人の「つながりのある地域」をめざし「地域のお宝」としてご紹介していきます。

たからまち 宝町自治会

取材先

宝泉地区



会長
中庭 徹さん



中庭さんは、令和6年度に自治会長になりました。過去にはお祭りの実行委員長や民生委員を務めていたこともあり、長年、宝町のために尽力されてきました。穏やかで優しい宝町自治会のリーダーです。令和7年に50周年を迎える宝町住宅街の記念イベントも計画中だそうです。

副会長
五十嵐 一二三さん



五十嵐さんは、令和5年度まで自治会長をしていたこともあり、中庭会長からとても頼りにされている存在です。宝町だよりを作成したり、自治会ホームページやLINEの公式アカウントを開設し、若い人たちに自治会活動に興味を持ってもらえるように工夫しています。



監事
高橋 弘さん



高橋さんは、15年以上のお付き合いがある中庭会長から「自治会活動にとっても協力的で実行力があり、相談しやすい方。」とされています。過去に区長代理を経験し、現在は宝泉地区民生児童委員協議会会長を務めていて、地域貢献をしています。宝町にはなくてはならない存在です。

地域の人たちが「つながる」宝町自治会行事

4月



コロナ禍が明けて、桜の季節の提灯飾りが再開されました。

毎月



住民の皆さんが、毎月交代で宝町中央公園を、清掃しています。

年4回



季節感を取り入れたいいききサロン。参加者は毎回70名以上！

8月



コロナ禍後、初めてのお祭り。たくさんの方が来場しました。

12月



セレモ斎苑カイルスのご協力で開催された大人のクリスマスコンサート。

12月



初の試みの餅つき会！多くの子どもたちが参加し、多世代交流になりました。

1月



大茶会では、お箏の演奏を聞きながらお茶をいただきました。

チェックポイント

コロナ禍があけ、宝町ではさまざまな自治会活動が開催されるようになりました。地域の人たちが顔を合わせる行事があると、会話が生まれ、社会参加につながります。地域の行事は、住民の絆を深める貴重な機会になります。

Instagram↓



つながる通信
バックナンバー

